

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和3年8月3日（火）13時30分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、佐藤（匡）室長補佐、木原室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所燃料デブリ取り出しプログラム部

担当者 4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁から、東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（以下「事故分析検討会」という。）における今後の調査・分析にあたって、原子炉格納容器内での可燃性ガスの発生要因となりうるケーブル等の仕様や量について、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）の調査状況等を確認した。

○東京電力から、2号機原子炉格納容器内部調査時のケーブル貫通部の調査結果などの整理にあわせて、原子炉圧力容器下部の制御棒駆動機構の制御ケーブルや電源ケーブルの調査・確認を行っている旨回答があった。原子力規制庁は、東京電力に対して、次回以降の事故分析検討会で議論を進められるよう引き続き調査・確認を行い、その結果を説明するよう依頼した。

6. 資料

なし

以上